

絶滅危惧類 ケシ科

ツルケマン

Corydalis ochotensis Turcz. var. *ochotensis*

全国カテゴリー；絶滅危惧 B類

【選定根拠】 全ての個体群で個体数が減少

【形態】 軟弱な越年草。茎は長く伸びて分枝し、高さ1m以上。葉は2~3回3出複生し、長さ1~1.5cm、無毛で粉白色をおびる。花期は7~9月。枝先に総状花序をつくり、花は淡黄色、長さ15~20mm。苞は卵形~広卵形。花柄は4~7mm。さく果は長倒卵形。種子は数個あって2列に並び黒色平滑。

【分布】 本州(関東・中部地方)、朝鮮・シベリア東部・オホーツク沿岸地方に分布する。

【県内の分布、生育状況】 浜通り地方・中通り地方・会津地方に分布が点在し、山中の林縁など半日陰地にまれに生育している。

【生育に影響を与えている要因】 森林伐採、道路工事、遷移進行

【特記事項】 生育地周辺の環境を保全することが望ましい。

絶滅危惧類 ケシ科

写真ページ

コマクサ

Dicentra peregrina (Rudolph) Makino

【選定根拠】 全ての個体群で個体数が減少

【形態】 小型の多年草。葉は柄があり、3出状に多数に細かく分裂し、長さ幅とも3~5cm。終裂片は線状長楕円形、鈍頭で、長さ2~6mm、幅約1mm、粉白を帯び、草質で全縁。花茎は高さ5~10cm、7~8月上旬に短い総状花序をつけ、2~7花を開く。花は平たく淡紅色、花冠は左右相称で4弁があるが、外側の2個は上半部が反り返り基部はふくらむ。がく片は広卵形で果時まで残る。さく果は狭長楕円形。

【分布】 北海道・本州(東北~中部地方)、千島・樺太・カムチャッカ・シベリア東部に分布する。

【県内の分布、生育状況】 会津地方南部のごく限られた地域に分布し、高地の砂れき地に生育している。

【生育に影響を与えている要因】 産地局限、砂れき地の崩壊、園芸採取

【特記事項】 生育地の環境を保全するとともに、鑑賞のための採取・販売・栽培をしないことが望ましい。

